

学科近況

沖縄高専は4月に15期生が入学し、一つの節目を迎えました。これまで本学科からは約400名の学生が卒業し、OBOGは社会の様々な分野で活躍しています。中でも1期生は今年で30歳となり、各所属企業で中核となる人材になっています。

各学年毎の話題は各担任から紹介されますが、特に新入生の皆さんには卒業まで5年間本校で過ごすこととなります。5年間は長いように感じられるかもしれませんが、あっという間に終わってしまいます。沖縄高専の施設・設備・教員・仲間からすこしでも多くを吸収し、入学時の夢や希望を実現出来るよう頑張ってください。

(学科長：正木 忠勝)

各学年の話題 (1年生)

今年度、メディア情報工学科1年の学科担任を担当させていただいております、西村篤と申します。4月から約1ヵ月かけて、全員と個別に面談をしました。学級担任ほど関わりはありませんが、困った時には相談しようと思ってもらえるような関わりができればと考えております。保護者の皆様におかれましても、お子様のこと、また学科や学校に関する事で相談がありましたら気軽にお声かけください。1年間よろしく願いいたします。

(1年学科担任：西村 篤)

各学年の話題 (2年生)

2年生は、4つの学科の学生を混ぜてクラスを構成する「混合学級」の一員として勉強していく最後の学年です。3年生からは学科別となりますので、2年生のうちには是非とも他学科の学生とも交流を深めて、学科別となって以降も変わらぬ友情を育てて欲しいと思います。

また、3年生からは専門科目が増えるため、勉強を難しく感じて、付いていけなくなる学生が出てくる場合があります。そうならず済むよう、3年生以降で学ぶ科目の基礎となる数学やプログラミ

ングなどの復習をしっかりと2年生の間に行い、これらの科目の苦手部分をゼロにする努力をして貰いたいと思います。

前述の通り、3年生以降は専門科目の数が増えていき、まずはその変化に対応するので精一杯となるでしょう。4年生では夏にインターンシップ、冬からは進路について考え、準備していかねばなりません。5年生では卒業研究が待っています。よって、2年生のうちから、将来自分は何を行いたいのか、何に興味があり、何が得意で、それらは何に活かせるのか、などのことを出来るだけ早くに考える必要があります。ご家庭でも折に触れて進路についてお話して頂けるならば幸いに存じます。

(2年学科担任：佐藤 尚)

各学年の話題 (3年生)

3学年は学科別の学級生活がはじまり、卒業まで基本的に同じメンバーで過ごします。お互いの個性を尊重しながら、仲間としての連帯感が持てるようなクラスの雰囲気をつくっていきたいと考えています。クラスのメンバーは平成30年6月現在42名です。その中で今年度から3年次に入学したモンゴルからの留学生1名を含んでいます。

5月3日(木)には恒例の体育祭が実施されました。当日、雨天で午後の競技が中止になりました

が、本クラスでは、事前準備として役員選出、選手決定、学級旗作成、クラスTシャツ作成等に精力的に取り組み、クラスのメンバー同士がまた一層仲良くなれたのではないかと思います。

3年生からは専門科目が増えています。学生たちには「各自に合う勉強法を開拓し自分に実力を付けるように！」といつも声をかけています。学生たちはそれぞれに工夫して6月上旬の前学期中間試験に乗り越えられたと思います。



モンゴル留学生の歓迎会（3年メディア）

3年生は12月に研修旅行が控えています。今年度の研修旅行は関東に行くことが決まりました。日程、航空便、宿泊先等の概要が概ね決まりました。研修旅行に向けて、服装、頭髪などに関する指導、旅行中に事故や事件に巻き込まれないための安全指導など通常では厳しく行っていない指導も含めて学生への指導が行われます。また旅費以外にもスーツやカバン等、何かと準備に手間や費用がかかります。授業期間中には準備が難しい点もありますので夏季休講の時期を利用して用意することをご検討ください。研修旅行についてご理解とご協力よろしく願いいたします。

3年から4年にかけては、進級要件が厳しい難所と言えます。担任としては卒業やその後の将来への展望を見出し、今年も全員に進級してもらいたいという思いです。保護者との連携も重視しながら、学生が主体的に学べるよう、担任として必要な指導・支援ができればと考えています。今後ともよろしくおねがいします。

（3年学科担任：タンスリヤボン スリヨン）

各学年の話題（4年生）

勝負の年の4年生が始まりました。就職においても、進学においても本番に向けて準備を始めなければなりません。学生面談を行いました。現時点で明確な就職先や進学先を挙げるができる学生はほとんどいません。インターンシップを通して企業観を得た夏休み明け頃には企業名や大学名を挙げられるようになることを期待しています。面談の中では、自分が何を武器に活動するのか、自己PRするための武器を準備するのはここが最後のスタートラインになる可能性が高いと伝えました。3年生と異なり、4年生は授業の無い時間も多いため、この時間を如何に有効に活用できるかが勝負です。優秀な成績やコンテストに参加することだけが重要ではなく、卒業後の進路を意識して、充実した1年間を過ごすことが重要です。進学を希望する学生も進学が目的ではなくその先の就職、人生が重要です。何を学び何を身に付け、どのような職業に就くのか、家族や友人と深く話し合ってもらいたいと思います。

6月の保護者面談には23名の保護者の方に来校していただく予定です。学校の様子や進路、インターンシップについてお話しできればと思います。今回は、時間の都合で面談を行えなかった保護者の方におかれましても希望がございましたら時間を調整していつでも面談を行いたいと思いますので気軽にご連絡ください。

就職・進学に向けてとても重要な準備の1年になります。保護者の皆さまも是非、お時間を作っていただき将来について話し合ってくださいませよう、よろしくお願い申し上げます。

（4年学科担任：玉城 龍洋）

インターンシップの話題（4年生）

沖縄高専では4年生を対象とする必修科目「インターンシップ」を実施しています。「インターンシップ」では、これまでの学校生活で学んだ理論や考え方を実際の社会において実践することにより社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

今年度のインターンシップは8月20日(月)から9月24日(月)の夏季休業中に実施されます。この間に2週間程度の就業体験を行うこととなります。現在、インターンシップ履修生37名の希望調査を終えました。今年度は学校から受け入れをお願いしている企業にとらわれず、自ら応募する公募型のインターンシップ先を希望する学生が多い傾向があります。これらの希望調査を元にそれぞれの学生の希望する企業との調整を進めています。現時点では4名のインターンシップ先が確定しております。

また、インターンシップへ参加するための準備として、6月13日(水)に外部講師を招き、ビジネスマナー講座を、6月20日(水)には女子学生を対象としたメイクアップセミナーを実施しました。



ビジネスマナー講座の様子(4年メディア)

7月上旬までに履修生全員のインターンシップ先が決まりますように、指導して行きます。保護者の皆様におかれましても、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

(4年学科副担任インターンシップ担当:金城 篤史)

各学年の話題 (5年生)

学級状況

本科生最後の年となる5年生にとって、締めくくりの節目となる一年がスタートしました。就職や進学準備に追われる日々が続いています。体調管理をしっかり行い、忙しいこの時期を乗り越えてほしいと願います。また、これまで本科で学んだ専門知識を応用しながら研究を行う卒業研究もスタートしています。本科の集大成となるこの

一年、それぞれが次のステップに向けて新しい出発ができるよう楽しみながら過ごしてほしいと思います。

進路の活動

学年がスタートし早速進路活動が本格化しています。進路別にみると、6月15日現在、卒業見込者40名中、就職希望32名(80%)、進学希望8名(20%)です。各研究室の指導教員が中心となり個別に進路指導を行うと共に、希望者には学校のキャリアアドバイザーがサポートします。売り手市場とはいえ、業界研究をしっかり行い自分の就職先を選び、自ら行動しなければ内々定を頂くことはできません。進学も同様です。一人ひとりがあきらめずに活動し一歩ずつ成長することが、最終的な内々定や合格を勝ち取ることに結び付くと思います。ご家庭におかれましても、お子様の進路活動の相談にのっていただき、学生たちが充実した高専生活の締めくくりの年を終えられるよう、御協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

(5年学科担任:鈴木 大作)

専攻科の話題

専攻科は本科卒業後の進学先として創設された2年間の教育課程です。専攻科の学生は、所定の審査に合格すると、大学改革支援・学位授与機構より学士(工学)の学位が授与されます。これにより、進路は更に大学院へも広げられることとなり、一層幅広い選択が行えるようになります。

専攻科情報工学コースには、現在、専攻科2年生が8名、1年生が5名在籍しており、2年生たちは進路を決めるために一生懸命活動しています(8名中7名が就職、1名が進学を希望)。また、今年度の1年生は非常に学習意欲があり、週に1回、全員で学生主導の機械学習の勉強会を開催しています。また、前述の勉強会とは別に、一部の情報工学コースの学生と生物資源工学コースの学生が互いの専門分野を教え合う勉強会も開いており、自ら積極的に勉学に励んでいます。この良い習慣を是非とも後輩学生たちに引き継いでもらって、新たな伝統を作ってくれることを期待しています。

(情報工学コース副主任:佐藤 尚)

新任教員紹介

4月より沖縄高専に赴任した當間栄作です。画像処理、コンピュータグラフィックスの授業を担当します。出身は那覇市ですが、3月まで山口大学大学院で学生をしていました。研究テーマは医療画像を用いた医師への診断支援です。初めての教員生活で不安なことも多々ありますが、精一杯学生へ指導を行いたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

(メディア情報工学科：當間 栄作)

その他学科内の話題

■受賞

- うちな～ICT ビジネスプラン発表会
『つみきっず』チーム：U150
呉屋愛恵 (2年メディア)
沖縄情報通信懇談会会長賞 (トップモデル賞)
NICT 賞
ICT ビジネス研究会キャンパス賞
テレコムサービス協会沖縄支部会長賞
『おたすけじゅーる』チーム：ちょこちっぴマフィン
宮里 颯斗 (メディア3年)
真嘉比 浩乃 (メディア2年)
フロム沖縄理事長賞
『faceLook』チーム：ロイヤルゆずラムネ
小室 凜央 (メディア2年)
今村 有志 (メディア2年)
美里 幸輝 (メディア2年)
IIA 会長賞
『Dondo』チーム：チーム新人
ゲレグドルジ ミンジン (メディア3年)
家村 一摩 (メディア2年)
宮城 翔 (メディア2年)
伊佐 志琉 (メディア2年)
社領 一樹 (メディア2年)
アイ・オー・データ賞
- ICT ビジネスモデル発見&発表会全国大会
『つみきっず』チーム：U150
呉屋愛恵 (2年メディア)

女性起業家大賞、エネコム賞 (スポンサー賞)
『おたすけじゅーる』チーム：ちょこちっぴマフィン

宮里 颯斗 (メディア3年)
真嘉比 浩乃 (メディア2年)
審査委員会特別賞

- 起業家甲子園
『つみきっず』チーム：U150
呉屋愛恵 (2年メディア)
岸本善生 (3年メディア)
審査委員特別賞、企業賞 (5件)
- 第19回高校生小論文コンクール
呉屋愛恵 (2年メディア)
優良賞
- 第69回沖展作品・教育出版賞 (現e-no賞) 受賞
仲間 李子 (5年メディア)
- マリンチャレンジプログラム全国大会
金城 拓登 (3年メディア)
宮城 武蔵 (2年メディア)
日本財団賞 (日本全国の2位の賞)

編集後記

学科だよりも平成30年度で13年目となります。15歳から20歳まで (専攻科だと22歳まで) という、不安定で変化の大きい時期に学ぶ高専の教育課程には勉強以外にも実に様々な教育的課題があるものだと認識しています。学科教員一丸となって、多様な教育的課題に向き合っていきたいと思っています。学科だよりに関するご意見ご要望がございましたら、是非下記連絡先までお知らせください。また、学校に対してお持ちの疑問・要望、また他の保護者の方々にも知って欲しいことなどを投書して下さることも大歓迎ですので、是非お気軽にお便りをお寄せ下さい。

編集担当者連絡先：

〒905-2192 沖縄県名護市宇辺野古 905

沖縄工業高等専門学校メディア情報工学科

タンスリヤボン スリヨン

TEL 0980-55-4003 (代) FAX 0980-55-4012 (代)